

五島列島（下五島エリア）ジオパーク活動支援助成金
事業成果概要【公開用】

事業名	五島の食をメインとしたジオパーク啓発イベント事業
事業の種類	調査・研究事業 / 普及・啓発事業 ※該当する事業に○を記載願います
所属・事業実施者	五島列島ジオパークガイドクラブ 佐藤 くみ
事業期間	令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年 2 月 24 日
関連分野	普及・啓発 ※事業の分野（地質学／考古学／普及・啓発／保全など）について記載願います
キーワード	なぜ五島の食はおいしい 五島の大地と農業／海と水産業 特産品 ※事業に関するキーワードを 3 点程度記載願います
対象地	五島列島（下五島エリア）ジオパークエリア内 ※事業対象の地区や地名（複数の場合は全て）を記載願います

※本様式にて提出の内容は五島列島ジオパーク推進協議会ホームページでそのまま公開いたします。

1. どうしてやろうと思ったか（事業の目的）

令和5年度は五島列島ジオパークの知名度アップを図り、エリアを知ってもらうためのマップ作りを、翌6年度は保全に関する啓発活動パンフレットの作成、草刈りなどのイベント実施を行ってきましたが、今年度は誰もが関わる「食」を切り口に、五島の大地・海と人々のつながりをジオの視点から捉え、五島列島ジオパークへの理解と興味・関心をより深めてもらえるよう、また気軽にジオパークに関わってもらうことを目的とし、企画・実施しました。

2. なにをやったのか（事業の内容）

令和7年12月6日（土）・7日（日）の2日間に渡り、鑑瀬ビジターセンターにてポスター展示を中心とした企画展を開催、同時に特産品、ジオパーク認定商品（食品）の販売、また新規の工作体験として、地形のミニチュア模型（鬼岳・嵯峨ノ島・山内盆地の3バージョン）に彩色する「地形模型を作ろう！」を7日に行いました。

3. どんないいことがあったか（事業の効果）

①会期中、想定数ですが1日約80～100人の島民、また鑑瀬ビジターセンターの来館者が来場し、五島列島ジオパークガイドクラブの活動の一環として企画展を見ていただいたこと。またビジターセンターの来館者促進にもつながったと思います。

②五島の食とジオとのつながりについて、ポスター展示や特産品の販売、「水の飲み比べ体験」や「五島の食のイチオシは？（好きな食を掲示板に書きこんでもらい、公表）」などを通じて、五島での農業、水産業、また大地と特産品との関係、食産業などについて来場者に関心を持っていただいたこと。

③地形模型の工作体験では、小さな子どもから年配の方々まで、思い思いの色を塗る楽しさを通じて、五島の地形の複雑さ、面白さを感じていただけたと思います。

④企画展の準備段階において、農業や漁業に携わるの方々、学校関係の方々からのご協力を得ることにより、ジオパークの活動やジオガイドについて認知していただいたこと。また、会期中も出店者の方々と話す機会を通じて、お互いの仕事や活動について認識が深まりました。

⑤会期中、現役のジオパークガイド1期生と、新たに認定ガイドとなった2期生が協力して運営を進めていたこと。今後のガイドやイベント活動において、より連携を強めていく機会となりました。

今回は、当初実施を予定していた講師を招いての「食の講話（講演会）」は、日程や諸事情により実現できませんでしたが、今後、島内・ジオパークエリア内の住民の方々を対象とした講演会・ワークショップなどを企画・実施していく他、生産者とその地域ならではの食の結びつきなど、地域に特化した食のイベントを行っていきたいと考えています。

「食のイベント」企画展写真 令和7年12月6日（土）・7日（日） 鏡瀬ビジターセンター



